



2023年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年1月13日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 2023年1月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の業績(2022年9月1日～2022年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	385	8.1	78	28.8	78	30.2	51	57.7
2022年8月期第1四半期	419		110		112		121	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	23.84	
2022年8月期第1四半期	56.35	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	6,689	5,244	78.4
2022年8月期	6,825	5,258	77.0

(参考)自己資本 2023年8月期第1四半期 5,244百万円 2022年8月期 5,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		20.00		30.00	50.00
2023年8月期					
2023年8月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	739	8.7	88	49.7	88	51.0	58	64.6	27.15
通期	1,613	5.8	261	15.5	262	7.1	173	78.3	80.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年8月期1Q	2,901,000 株	2022年8月期	2,901,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年8月期1Q	752,260 株	2022年8月期	752,260 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年8月期1Q	2,148,740 株	2022年8月期1Q	2,148,740 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、各種行動制限が緩和され景気に緩やかな持ち直しの傾向が見られた一方で、ロシアのウクライナへの侵攻等による資源価格の高騰、金融資本市場の変動を発端とした円安進行による物価上昇で消費者の節約志向が強まるなど、依然として先行きが見通せない状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響や物価高により国内の個人消費は低迷しており、業績への影響を受けております。しかしながら、在庫の削減もひと段落したことで、新商品の開発、さらには実店舗での販売準備を慎重に進めて黒字化を目指し取り組んでおります。また、賃貸倉庫事業におきましては、引き続き稼働率は高く業績は底堅く推移しております。また、新倉庫（カワサキテクノプラザ）の建設は順調に進んでおり、2023年4月の本稼働を予定しております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高が385,933千円（前年同期比8.1%の減少）、営業利益が78,877千円（前年同期比28.8%の減少）、経常利益が78,606千円（前年同期比30.2%の減少）、四半期純利益は51,234千円（前年同期比57.7%の減少）となりました。

セグメントの業績を示すと次の通りであります。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、販売品目の整理等により利益体質の強化を図りましたが、節約志向の高まり等を受けて売上高は152,928千円（前年同期比12.7%の減少）、営業利益は10,549千円（前年同期比45.8%の減少）となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、天理倉庫の売却による売上高の減少、新倉庫の（カワサキテクノプラザ）建設に伴う先行費用の発生はあったものの、業績は安定して推移しました。その結果、売上高は233,004千円（前年同期比4.8%の減少）、営業利益は68,327千円（前年同期比25.2%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて148,634千円（15.6%）減少し、803,552千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が180,773千円、その他が44,212千円減少し、商品及び製品が55,060千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて12,465千円（0.2%）増加し、5,886,177千円となりました。この主な要因は、建設仮勘定が60,870千円増加し、建物及び構築物が41,084千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて117,806千円（25.0%）減少し、354,219千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が88,004千円、一年内返済予定の長期借入金が52,800千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて5,134千円（0.5%）減少し、1,090,605千円となりました。この主な要因は、長期借入金が12,600千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて13,227千円（0.3%）減少し、5,244,905千円となりました。この主な要因は、四半期純利益の計上51,234千円、配当による減少64,462千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月13日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	619,333	438,560
受取手形、売掛金及び契約資産	38,979	63,156
商品及び製品	175,461	230,521
原材料及び貯蔵品	32,582	29,067
その他	86,622	42,410
貸倒引当金	△792	△164
流動資産合計	952,186	803,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,998,525	1,957,440
機械装置及び運搬具（純額）	235,326	228,271
土地	2,571,366	2,571,366
建設仮勘定	614,129	674,999
その他（純額）	13,273	12,175
有形固定資産合計	5,432,622	5,444,254
無形固定資産	20,344	22,056
投資その他の資産	420,745	419,866
固定資産合計	5,873,712	5,886,177
資産合計	6,825,898	6,689,730

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,722	8,205
1年内返済予定の長期借入金	181,390	128,590
未払法人税等	110,142	22,138
賞与引当金	1,102	3,658
その他	174,667	191,626
流動負債合計	472,025	354,219
固定負債		
長期借入金	449,600	437,000
役員退職慰労引当金	8,816	9,666
資産除去債務	223,439	223,730
その他	413,883	420,208
固定負債合計	1,095,740	1,090,605
負債合計	1,567,765	1,444,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金	1,025,937	1,025,937
利益剰余金	4,703,112	4,689,885
自己株式	△475,216	△475,216
株主資本合計	5,258,133	5,244,905
純資産合計	5,258,133	5,244,905
負債純資産合計	6,825,898	6,689,730

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年9月1日 至2021年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2022年11月30日)
売上高	419,985	385,933
売上原価	215,976	219,907
売上総利益	204,008	166,026
販売費及び一般管理費	93,190	87,148
営業利益	110,817	78,877
営業外収益		
協力金収入	940	-
受取手数料	619	315
受取家賃	300	498
その他	214	74
営業外収益合計	2,074	888
営業外費用		
支払利息	310	884
為替差損	19	274
その他	0	-
営業外費用合計	329	1,159
経常利益	112,562	78,606
特別利益		
圧縮未決算特別勘定戻入額	69,547	-
特別利益合計	69,547	-
税引前四半期純利益	182,110	78,606
法人税、住民税及び事業税	43,434	20,947
法人税等調整額	17,595	6,424
法人税等合計	61,030	27,371
四半期純利益	121,079	51,234

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫事業	
売上高			
外部顧客への売上高	175,113	244,871	419,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	175,113	244,871	419,985
セグメント利益	19,452	91,365	110,817

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫事業	
売上高			
外部顧客への売上高	152,928	233,004	385,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	152,928	233,004	385,933
セグメント利益	10,549	68,327	78,877

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。